

秋田の土地改良

CONTENT 1

2014年 新年挨拶

CONTENT 2

平成26年度 農林水産予算概算決定の概要

2014.1
新年号

新年号平成26年1月15日

新年のごあいさつ



秋田県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット秋田)

会長 **高貝 久遠**

明けましておめでとうございます。

会員並びに関係の皆様には、ご家族ともども、健やかに輝かしい平成26年の新春を迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。また、平素から農業農村整備事業の推進並びに本会の業務運営に、特段のご理解とご協力を頂いておりますことに、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、数年続きの天候異変が、冬の豪雪、桜の開花が遅れた春、長引いた梅雨、残暑が厳しかった秋をもたらしましたが、特に8月上旬には、仙北市で「予測困難で局所的・突発的な豪雨」による土石流災害が発生し、6名の尊い命が失われました。心よりお悔やみ申し上げます。この豪雨は、鹿角・大館地区等におきましても、農地・農業用施設等に甚大な被害をもたらしております。早急な復旧と、一日でも早い平穏な生活が戻りますことを、お祈り申しあげます。

さて、私たちの祖先は、厳しい自然条件と闘いながら、荒涼とした山野を切り拓いて疏水し、洪水で出来た低湿地を乾土して農耕を営み、加えて、地形や気象による宿命を克服しながら、今日の秋田県農業の基盤を築いてきたもので、その足跡こそ、本県農業・農村の貴重な歴史であり、先人の血と汗の努力に対して、心から敬意を表するものであります。

目次

CONTENTS

新年挨拶	2	農業用施設賠償責任保険・団体傷害保険制度	8
・ 本会会長 高貝久遠	2	平成25年度土地改良関係団体役職員講習会	9
・ 秋田県知事 佐竹敬久	4	大仙市西仙北土地改良区(50周年)、事業竣工式	10
・ 秋田県議会議長 能登祐一	5	農業農村整備フェア	10
平成26年度農林水産予算概算決定の概要	6	平成25年秋の叙勲受章者	11
農業農村整備の集い(全国水土里ネット)	7	連合会日誌、会員だより、編集後記	11
農林水産大臣賞現地視察【大仙市協和小種土地改良区】	7	2013子ども絵画展入選作品	12
平成25年度秋田県土地改良事業推進大会	8	謹賀新年(役職員新年あいさつ)	12

しかし、本県農業・農村が今後とも持続的に発展し、国民の食の安全、安心を担っていくためには、先人たちから受け継いだこれら優良農地や農業水利施設の整備を、継続的かつ安定的に実施することが不可欠であり、先の政権政党によって大幅減額された農業農村整備関係予算の復活が実感できる規模を、継続して確保する必要があります。

また、越年したT P P交渉に関しましては、現政権に対し、関係国が要求する農産品5項目の関税撤廃は、日本農業の崩壊に繋がるという危機感と、国民との極めて重要な約束である国会決議を守るという責任感をもって、交渉の場に臨む姿を督責します。

さらに、減反廃止を打ち出した「農林水産業・地域の活力創造プラン」につきましても、これまでの生産調整に協力し、政策の大転換で一番困惑している農家に、その必要性を丁寧に説明し、理解を得ることが急務であり、高齢化が進む農業の現場に、若い力を呼び込む政策体系への熟慮した移行こそが、今後の重要課題と捉まえるべきです。

本会としましては、会員各位、全国の水土里ネットの仲間との結束力により、昨年暮れに閣議決定されました来年度当初予算政府原案の満額成立に傾注して参ることは無論、T P P問題、農政大転換問題に関しましては、県内、国内各種団体との連携により、的確に対処して参りたいと存じますので、会員並びに関係皆様の格段のご理解、ご協力をお願いします。

新しい年の幕開けに際し、皆様に親しまれ、信頼される水土里ネット秋田を念頭に、技術力・指導力の一層の向上と、組織基盤の更なる強化に努める所存であります。各水土里ネット、各市町村の会員皆様を始め、関係各位におかれましては、本会の運営等に対しまして、ますますの、ご支援、ご協力を下さいますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念して、新年のご挨拶と致します。

野山の花

正月の花（門松）

秋田市の市民講座（門松作り）に参加して作った花器・花材を利用して、野山から採ったユズリハ・ガマズミ等を加えて生けてみました。

門松は、正月の家々の門前に立てるもので、松は、昔から常に緑であり、おめでたい木とされており、鎌倉時代以後になって、松に竹を加えて門松とされるようになったとされています。

山で見つけた貴重なユズリハは、親が子を育てて家が代々続いていくように見立てて縁起物とされています。 （広報・渉外班◆井島）



年頭のごあいさつ



秋田県知事
佐竹 敬久

新年明けましておめでとうございます。

水土里ネット会員の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国学力・学習状況調査結果において、小中学生の学力が連続で全国トップクラスとなったほか、新県立美術館のグランドオープンなど明るい話題があった一方、8月、9月の大雨や土砂災害など、大きな災害のあった年でもありました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げるとともに、県としても引き続き災害復旧や再生産に向けた取組を支援してまいります。

さて、昨年は米政策の見直しなど、国の農政において大きな変革があり、年末には、今後の農政の方向性を示す「農林水産業・地域の活力創造プラン」が決定されました。

このプランは、10年間で農業所得を倍増させるという目標の実現に向け、米の生産調整や経営所得安定対策の見直しのほか、農地中間管理機構を通じた農地の集約化や日本型直接支払制度の創設など、農業・農村の基本政策全般を大きく転換する内容となっております。

県としましても、農家をはじめ県民の皆様から幅広くご意見を伺いながら、国の政策転換による影響を十分に分析し、国に対し積極的に提言を行うほか、県独自の施策・事業を構築してまいりたいと考えております。

本県農業が情勢の変化に対応しながら持続的に発展していくためには、経営の規模拡大や複合化・多角化を進め、農業の体質強化を図っていくことが必要であります。このため、現在策定を進めている「第2期ふるさと秋田元気創造プラン（仮称）」においても、生産性の向上やブランド化・6次産業化の推進による付加価値の向上などを柱に、競争力強化に向けた取組を重点的に推進してまいります。

また、農業農村整備におきましては、競争力のある農業の確立に不可欠な水田の大区画化・汎用化と併せて、担い手への農地集積を一体的に進めるほ場整備を着実に推進していくとともに、老朽化した農業水利施設の長寿命化やため池の耐震化などの防災・減災対策を推進し、災害に強い農村社会の形成を図ってまいります。

水土里ネットには、ふるさと秋田の大切な社会基盤である農地・農業用水等の地域資源の管理や、農村における多面的機能の発揮などの取り組みに積極的に貢献していただいております。今後とも、農業農村整備の推進はもとより、農業の持続的な発展に重要な役割を果たしていただくことをご期待申し上げます。

結びに、新しい年が水土里ネット会員の皆様にとって希望に満ちあふれた飛躍の年でありますようご祈念申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。